

国際農学ESDプログラムの構築と実践

筑波大学農林技術センター

国際農学ESDシンポジウム

筑波大学農林技術センターは、1979年にUNESCOのAPEID事業の協力センター(AC)に指名されて以来、30年近くに亘り、**筑波アジア農業教育セミナー(TASAE)**を主催してきましたが、2008年度からは、大学院生・若手研究者のトレーニング・プログラムを取り入れ、新たに「**国際農学ESDシンポジウム**」として再出発しました。**ESD**(Education for Sustainable Developments)とは、我国の働き掛けにより国連総会において採択された国連の活動であり、本プログラムは、この**ESD**の理念に基づき「**食料・環境・生物資源利用の分野で国際的に活躍できる人材の育成**」を目指します。

本プログラムは、「平成20年度文部科学省大学教育の国際化加速プログラム・国際共同・連携支援(交流プログラム開発型)プログラム」および平成20年度「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業に採択され活発な活動が展開されました。

海外協定校:

- ・カセサート大学(タイ王国)
- ・ポゴール農科大学(インドネシア共和国)
- ・フィリピン大学ロスバニオス校(フィリピン共和国)

11月6日(木)
午前【ポスターセッション】

筑波大学から7名、茨城大学から7名、筑波大学附属坂戸高校から2名が英語によるポスター発表を行い、2名の学生に**ベストポスター賞**を授与しました。



11月6日(木)
午後【特別講演会】

- ・Dr. Mehdi Ahmadyar (茗溪学園国際部長)
- ・鈴木正昭氏(国際農林業協働協会技術参与)
- ・Mr. Mohammad N. Akbary (アフガニスタン・イスラム共和国下院議員)



11月7日(金)
【協定校との国際農学ESDプログラムに関する発表と打ち合わせ】

- ・Dr. Sutkhet Nakasathien (カセサート大学)
- ・Dr. Kukuh Murti Laksono (ポゴール農科大学)
- ・Dr. Oscar B. Zamora (フィリピン大学ロスバニオス校)
- ・田島 淳史氏(筑波大学)



11月10日(月)
【若手研究者フォーラム】

【特別講演】
・壽賀一仁氏(JVC理事)
【若手研究者による発表】

- ・Ms. Montana Ruchirasak (カセサート大学)
- ・南川 和則氏(農環境技術研究所)
- ・Mr. Yayat Hidayat (ポゴール農科大学)
- ・堀金 麻里氏(筑波大学)
- ・Ms. Lourdes Santos Edano (フィリピン大学)
- ・Mr. Ousmane Diene(茨城大学)

【表彰】

Best Presentation Award を2名に授与しました。



国際農学ESDインターンシップ

筑波大学大学院博士前期課程に**国際農学ESDインターンシップ(1単位)**を開設しました。今年度は、5名の学生が履修し、招待者に対するサポート、英語による議事進行などの経験を積みました。



茨城大学農学部との連携プログラム

茨城大学農学部との連携のもとに、インドネシアとの学生交流プログラムを実施しました。



©2009 全国大学附属農場協議会